

もくじ

はじめに	1
第1章 地域コミュニティの現状	1
1 地域コミュニティにおける自治会の性格	
2 自治会の現状	
(1) 少子高齢化の進行	
(2) 生活習慣の多様化による行動形態や意識の変化	
(3) 地域住民情報の把握の困難化	
(4) 担い手等の人材不足	
(5) 行政との関係	
3 F町の現状	
(1) F町町内会の状況	
(2) F町における町内会の役割	
(3) F町における町内会の力	
(4) F町における町内会の課題	
第2章 地域コミュニティの課題	5
1 地域コミュニティの意義	
2 地域コミュニティに求められているもの	
第3章 政策提言	6
1 施策のねらい	
2 提言	
(1) 団塊世代による、担い手・なり手応援事業～人生の次の段階へ～	
(2) かわら版ネットワーク事業	
3 効果	
第4章 まとめ	7
資料	8
資料1 自治会を廃止した場合に想定される課題と対応策	
資料2 かわら版（イメージ）	
資料3 かわら版ネットワーク概念図	

提言の要約

地域づくりは担い手づくりから

現状

- ・ 高齢化の進行
- ・ 生活習慣の多様化による行動形態や意識の変化
- ・ 地域住民情報の把握の困難化
- ・ 後継者、リーダー等の人材不足

課題

- ・ 地域コミュニティ活動の停滞
- ・ 地域コミュニティ活動の担い手の固定化
- ・ 地域コミュニティ活動の担い手の不足
- ・ 地域コミュニティ活動の状況を把握している人の減少

目標

団塊世代の活躍の場を職場から地域へ

「担い手づくり」

提言

1. ～人生の次の段階へ～

「団塊世代による、担い手・なり手応援事業」

- ★ 団塊世代に呼びかけ、地域の情報紙「かわら版」を作成する。
 - ・ 自治会活動や防災・防犯等の生活情報の掲載。
 - ・ 取材から作成までの過程を一貫して行う。

2. かわら版ネットワーク事業

- ★ 各地域の団塊世代が、情報の交換や集約を行う場『いきいきサロン』を中心としたネットワーク体制を構築する。

効果

地域における、団塊世代の登場・活躍、世代相互間の交流により…

- 地域コミュニティ活動に関心を持つようになる。
- 地域コミュニティ活動への参加を促せる。
- 地域コミュニティ活動の担い手不足の解消になる。